

# 軽量化複合鋼板用の極薄亜鉛めっき鋼板



極薄亜鉛めっき鋼板と樹脂系との複合化で高剛性を可能とし、軽量化をサポートします。

JFE 鋼板 株式会社

[http://www.jfe-kouhan.co.jp/kouhansyohin/ichiran\\_meki.html](http://www.jfe-kouhan.co.jp/kouhansyohin/ichiran_meki.html)

## 極薄亜鉛めっき鋼板

極薄亜鉛めっき鋼板や超極薄亜鉛めっき鋼板（最小板厚0.08mm）を樹脂の芯材として使用し長尺サイズの剛性アップが図れます。また、極薄亜鉛めっき鋼板を、樹脂等の他素材とサンドイッチすることで軽量、高剛性の自動車用内装パネル素材（ラゲージボード、スペアタイヤカバー等）に適用できます。

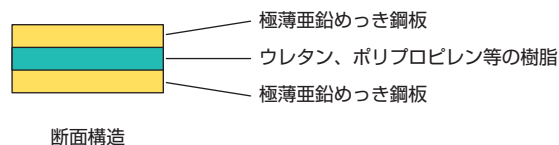
## 特長

- ① 厚さ0.08mm～0.20mmの溶融亜鉛めっき鋼板であり、極薄でも耐食性に優れており、クロメートフリー処理も可能です。
- ② 樹脂等の他素材との複合化を行うことにより、軽量化および表面の硬質化と高強度化を可能とします。
- ③ 極薄亜鉛めっき鋼板は、加工方法に応じてハード、セミソフト、ソフトの3種類の材質を選定できます。

鋼板の材質	加工限界	鋼板の機械特性 TSレベル (N/mm <sup>2</sup> )
ハード	3t曲げより大きな内半径の曲げ加工が可能です。	650≦
セミソフト	浅い絞り加工、折り曲げ加工が可能です。	480≦
ソフト	軽度の絞り加工、折り曲げ加工が可能です。	350≦

## 用途事例

- 部品：ラゲージボード等



## 製造可能範囲

- 厚さ 0.08mm～0.20mm
- 幅 600mm～1067mm（最大幅は厚さによって変わります）

## 適用可能な自動車部品

